LSPM 1.0$^+$/2.0$^+$ クイックスタートガイド

LUMILOOP GmbH

2025 年 6 月 16 日

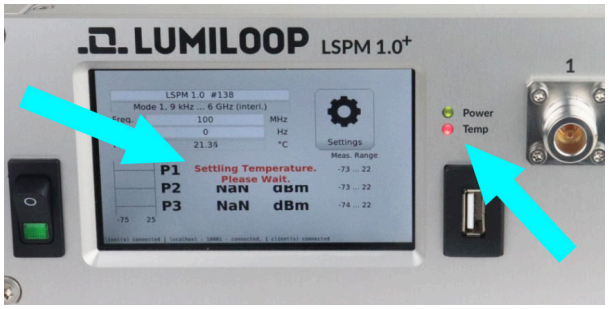
このドキュメントの最新バージョンと完全な LSPM ユーザー マニュアルがダウンロード可能です www.lumiloop.de.

1 システム概要

LSPM 1.0$^+$/2.0$^+$ システムは、高速 RF パワーメーターとタッチパネルが一体化したシングルボードコンピュータ、、電源コード、USB フラッシュ・ドライブで構成されています。
LSPM 1.0$^+$/2.0$^+$ には LUMILOOP TCP Server、LUMILOOP GUI、メーカー校正データ、およびオプションで認定校正データがプリインストールされています。
USB フラッシュドライブには、LUMILOOP Windows Installer が含まれています。を含む LUMILOOP GUI が含まれています。
サードパーティの EMC ソフトウェアは、TCP/IP 経由で交換される SCPI コマンドを使用して、LSPM 1.0$^+$/2.0$^+$ と通信します。

2 システム・スタートアップ

1. 付属の主電源コードを LSPM$^+$ に接続します。
2. フロントパネルのスイッチを "緑"に切り替え、LSPM 1.0$^+$/2.0$^+$ の電源を入れると、RF コネクター横の緑色の「Power」LED が点滅し始めます。LUMILOOP TCP Server と LUMILOOP "+"Device GUI が自動的に起動しはじめます。適切な動作状態になると、緑色の「Power」LED が常時点灯になります。
3. システムは作動温度まで冷却または加熱されます。この時「Temp」LED が赤になります。さらに、"+"Device GUI には「Setting Temperature.Please wait」というメッセージが表示されます。必要な動作温度に達すると、赤色の「Temperature」LED が消え、"+"Device GUI のメッセージも消えます。



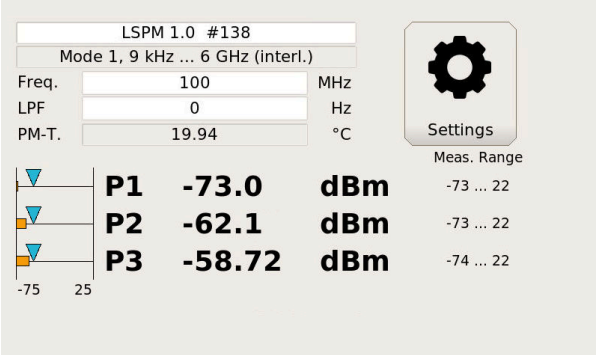
4. LUMILOOP の LSProbe および/または LSPM デバイスを追加する場合、USB を使って LSPM$^+$ に接続できます。

3 LUMILOOP "+"Device GUI

LUMILOOP "+"Device GUI は、システム起動後に自動的に起動し、バックグラウンドで動作している LUMILOOP TCP Server と通信します。

1. GUI は、動作温度に達した後、適切な動作状態になると RF パワー値を表示しはじめます。

2. 下図のように、利用可能なすべてのチャンネルの RF パワー値が GUI に表示されます。設定したモードと周波数に対する校正電力の最大値と最小値は画面右端に表示されます。は画面の右端に表示されます。



3. 正確な RF パワー測定のため、動作周波数を設定する必要があります。

   以下の方法でオンスクリーンキーボードを開き、任意の周波数を入力します。

   (a) 「Freq.」入力フィールドをタップする。
   (b) 右上の歯車ボタンをクリックして「Setting」ダイアログを開き、「Frequency」ボタンを選択します。

   数値はヘルツで入力します。SI 接頭語で表示されます。例）100MHz の場合「100M」と表示されます。

4 リモート・コントロールとサードパーティ製ソフトウェアへのアクセス

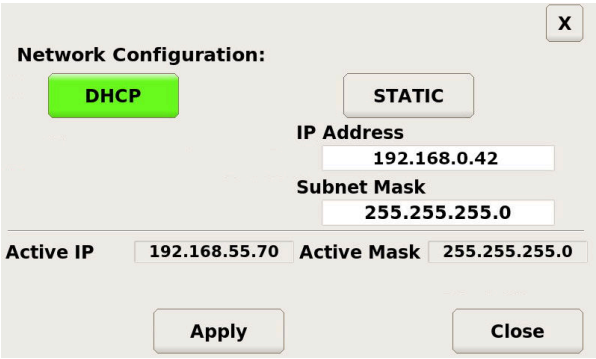
LSPM$^+$ の高度なソフトウェア機能（波形記録、パルス評価、統計など）を使用するには、TCP/IP 経由でリモートアクセスが必要です。サードパーティ製ソフトウェアへのアクセスも同様に設定してください。

1. LSPM 1.0$^+$/2.0$^+$ とホストコンピュータをネットワーク経由で接続するか、パッチケーブルを使って直接接続します。

2. LSPM 1.0$^+$/2.0$^+$ のネットワーク設定は 'Network Configuration' ダイアログで確認・変更できる。Network Configuration ダイアログで確認・変更できます。右上の歯車ボタンをタップしてください、Settings "ダイアログで "System "を選択し、"Network Settings "を選択します。静的(デフォルト) または DHCP ネットワーク設定がサポートされており、アクティブな設定は緑色でハイライトされます。アクティブな IP アドレスは設定の下に表示され、TCP ポートは 10001 です。デフォルトのアドレスとネットワークマスクは 192.168.0.42 と 255.255.255.0 です。

3. ホストコンピュータのネットワークを適宜設定し、サードパーティ製ソフトウェアで IP アドレスと TCP ポートを設定します。

4. リモートコンピュータから LUMILOOP GUI を使用するには、USB メモリに含まれる LUMILOOP Windows Installer をインストールします。LUMILOOP GUI を起動し、接続設定を行います。



より詳しい説明は LSPM ユーザーズマニュアル、セクション 6.3 を参照してください。

メモ欄

warranty
lumiloop.de/support/register
LUMILOOP **デバイスを登録すると**
無償で 1 年延長保証が受けられます。
現在保証対象となっているすべての機器に適用されます。